計画検討の流れ

■　平成３年度の予備調査より、交通マスタープラン、地区交通計画、オムニバスタウン計画を進めてきています。

	交通マスタープラン	地区交通計画	オムニバスタウン計画	備　　考
平成３年度	■鎌倉市の交通体系についての予備調査を開始 ⇒中世の面影を残した鎌倉地域については、調査の当初よりＴＤＭ的な施策が必要と考えられていた。			
平成４年度		■交通現況などの基礎的調査		
平成５年度 平成６年度	■交通マスタープラン（素案）の検討 ⇒鎌倉地域での交通需要管理の必要性を位置づけ			オムニバスタウン計画の以前にミニバスの運行を実施 平成７年度： ・大船駅～桔梗山線（＊1） 平成８年度： ・七里ガ浜循環線（＊1）
平成７年度		■研究会発足、第１提言の作成		
平成８年度		■七里ガ浜Ｐ＆ＲＲ実験		
平成９年度	■交通マスタープランの策定	■公共交通乗り継ぎシステムの検討		
平成10年度		■環境手形実験	■協議会発足、計画案作成	
平成11年度		■円滑化総合実験（５つの実験）	■オムニバスタウンの指定 （全国で５番目） ・鎌倉駅西口線（＊1）	＊1）ミニバス
平成12年度		■関係機関との調整	・ 小動線、新鎌倉山循環線（＊1）	
平成13年度		■第２提言の作成 ■５つの施策の本格実施	・大塔宮線（＊2） ・由比ガ浜ﾊﾟｰｸ&ﾊﾞｽﾗｲﾄﾞ（＊1） ・ﾊﾞｽﾛｹｰｼｮﾝｼｽﾃﾑの充実 ・公共交通優先ﾚｰﾝの設置（＊3）	＊２）ﾉﾝｽﾃｯﾌﾟﾊﾞｽ、ﾊﾞｽﾛｹｰｼｮﾝｼｽﾃﾑ ＊3）鎌倉参道線（若宮大路）
平成14年度以降	■見直し予定	■情報提供・プロモーションの検討など	■中期計画の策定	